

二市一郡で五十四年に開所 近く基金の募金をお願い

新設田、豊栄、北浦原郡内市町村を管内とする精神薄弱者施設ミニ・コロニーの建設の主体となる社会福祉法人の設立発起人(代表白 勢正弥)もでき、いまこの建設準備がすすまれている。近く、この建設のための基金の募金が行われることになり、豊栄市でも一世帯四百円の目標で募金運動が展開されることになりました。



ミニコロニーの建設

この地域内の精神薄弱者は千五百人、そのうち百八十人ほどが重度精神弱者です。施設で指導訓練しても、就職による社会参加のむずかしいこうした精神弱者を收容保護し、更生

および作業訓練によって収入を得させ、勤労の尊厳と働くよろこびを享受しようとするのがこのミニ・コロニーの目的です。新設田のミニ・コロニー構想は、いままでにない全く新しい着想といわれます。それは、ともすると閉鎖的なしがちな施設運営を、開放的で明るい地域社会に同化するものとする、つまり住民とともに歩む施設づくりを目標としていることにあります。したがって、その運営も民間のかたがたによる社会福祉法人によって行われます。今年八月に社会福祉法人設立発起人会ができました。豊栄市でも、今年二月に心身障害者育成会(会員千六百人、林伍一郎会長)が発足して、この建設推進のために活動しています。

「長浦老人憩の家」計画できる

旧長場小跡地に来年夏完成

長浦老人憩の家の建設計画が完成し、このほど建築設計が発注されました。市の総合計画では、合併旧町村ごとに一カ所ずつ各出張所と併設して老人憩の家を整備し、これを地域の総合センターとしての機能をもつよう計画されています。この計画にそって木崎地区にありの地区にありの施設、周囲の風景に調和する形で建設し、それが建設されるおとよりの築きや教室も、ここに開かれることなるで、長浦出張所の建物と地下で接続します。さらに、一体的な利用を図られるように、いま

三千万円で、運営費は年間六千万円あまりが予定されます。用地費は、関係市町村で負担しますが、豊栄市の負担は昭和五十六年までに約一千万円ほどになる見込みです。そこで、当面の建設費と入所者の生活費は国と県とで用意しますが、運営母体である社会福祉法人の基本財産・運用財産および予備財源は法人で準備しなければなりません。そのために、二市一郡のこの管内で二千万円を目標に、基金の運動を展開することになりました。

「住民参加によって、社会の谷間にあるめぐれないの人たちに、明るい社会の灯をともしようがことである」と、準備に当たっている心身障害者育成会と発起人会で、幅広く市民の協力を求めています。

相良町と三回目の青年交歓

「県外の青年たちと話し合い視野を広げよう」と毎年行っている県外青年交歓会(青年団・市教委主催)は、今年は静岡県相良町を訪問してきました。

相良町との交歓会は昭和三十四年と四十三年に行っており、今回で三回目。十一月二十一日から二泊三日、内藤一朗さん(長戸邑)ほか四十人が参加しました。前泊は相良町の青年たちの家で民泊。地域と青年活動のあり方、生活かたなど熱心な交歓が行われました。

来年の秋、こんどは相良町の青年たちが豊栄にくる計画になっています。

『話かけてほしい』老人 『小言が一番いや』婦人 老人と婦人の交歓会

「おとよりは、体に合った仕事をしながら生きてほしい」と「趣味を持ってが若返りのコツ」。年を取ると困る。常に留意を...

「話かけてほしい」老人、「小言が一番いや」婦人。老人と婦人の交歓会。おとよりの生活の幸は老人たちが築きあげた。老人も堂々と胸を張ろう。反面、いまの若い人の働きがあればこそ、この施設などを作ってもらえた。けんきよも持ちたいもの。また、金や物があっても、心の幸は、自分でつくる人が互いにぐちをい、合うことをやめ、相手の理解を深めるために、まず「家族間でも、あいさつを合おう」そして「生活の中から問題をみつけ「対話」の機会を持ち、また話し合いをしよう」ということでした。

登記簿謄本の請求

土地建物の登記簿謄本請求のことですが、住居表示が実施されてから、請求者が

人権コーナー (7)

土地・建物の登記簿は、土地の番号順に編成されています。住居表示前の住所を定めていましたので、住所番号と土地建物の住所が同一であれば、請求が受けられます。

「話かけてほしい」老人、「小言が一番いや」婦人。老人と婦人の交歓会。おとよりの生活の幸は老人たちが築きあげた。老人も堂々と胸を張ろう。反面、いまの若い人の働きがあればこそ、この施設などを作ってもらえた。けんきよも持ちたいもの。また、金や物があっても、心の幸は、自分でつくる人が互いにぐちをい、合うことをやめ、相手の理解を深めるために、まず「家族間でも、あいさつを合おう」そして「生活の中から問題をみつけ「対話」の機会を持ち、また話し合いをしよう」ということでした。



タンク車を購入

消防署にタンク車1水槽付消防ポンプ自動車がいりました。一台四十万円。補助金は三百八十七万円です。